

子どもの夢を育むまち

夢



日本大学 法学部
福島ゼミナールAチーム

目次

- 1、政策提案
- 2、政策を考えた背景
- 3、政策の内容と具体的な流れ
- 4、政策のメリット

私たちの政策提言は、



- ①小学生向けのお仕事体験会**
- ②高校生向けのミッション達成型インターンシップ**



です！！

実現したい京田辺の姿

☆子どもの夢と可能性を広げられるまち

☆子どもが成長できるまち

☆子どもたち自ら夢を持てるまち

☆子どもたちが様々な体験をして視野を広げるまち



どうしてこのように考えたのか

子どもたちが輝くとは？
自分たちはどういう時にワクワクしていたのか？

夢や目標を持って取り組んでいる状態

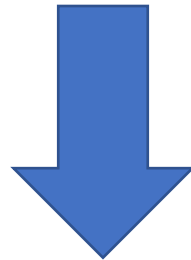


やりたいことに出会う機会が必要
→ **経験・体験できる環境**を作りたい！！

そういった環境が地域にあったら良いのではないか？

子どもたちが夢を育めるまち

将来を担う子どもたちのためにできることは？



幼い時の経験＝視野を広げる

→様々な職業を経験・体験することで
将来の可能性を育む！！！！

政策提言① おしごと体験会

主体

京田辺市教育委員会

対象

小学生

場所

公民館等の公共施設

時期

週末

政策提言① おしごと体験会

<具体的な流れ>

- ①市内の小学校の5, 6年生に参加を呼びかける
- ②企業、地域の人たちの参加を呼びかける
- ③参加企業等は自治体や教育委員会がとりまとめる
- ④地域の公共施設で開催
- ⑤実際にお仕事を体験してもらう



仕事を通じて
地域の人々と小学生の交流を生む

政策提言① おしごと体験会

教育委員会

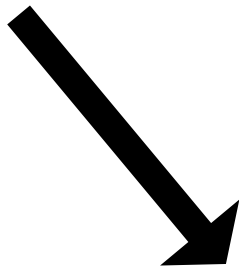
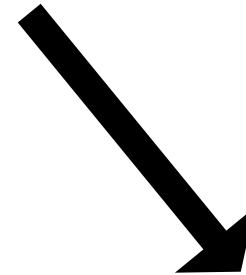
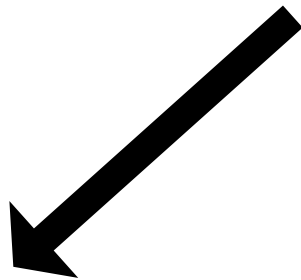
参加の呼びかけ

小学校

企業、地域住民

自治体、教育委員会がとりまとめ

開催(公共施設)



政策提言② ミッション達成型インターンシップ

主体

京田辺市教育委員会

対象

市内の高校に通う高校生と市内在住の高校生

場所

企業や役所、個人事業主や経営者、農家等

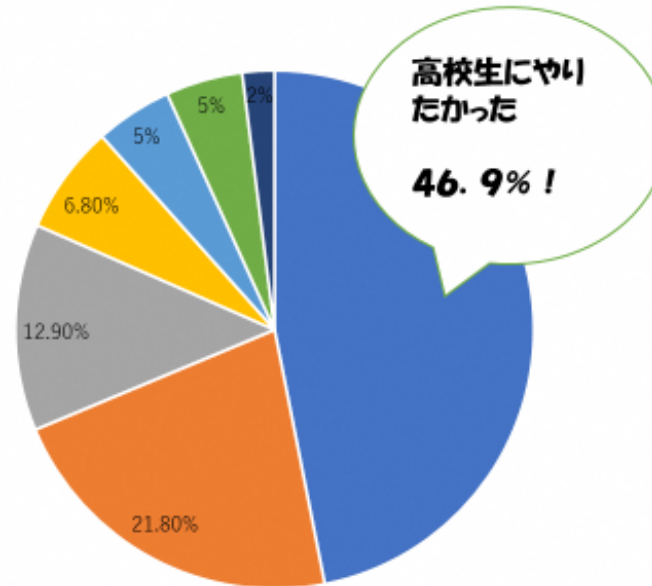
時期

長期休業期間

大学生アンケート結果

私たちが150人向けにアンケートを行った集計結果によると、、、

職業体験をやりたかった年齢



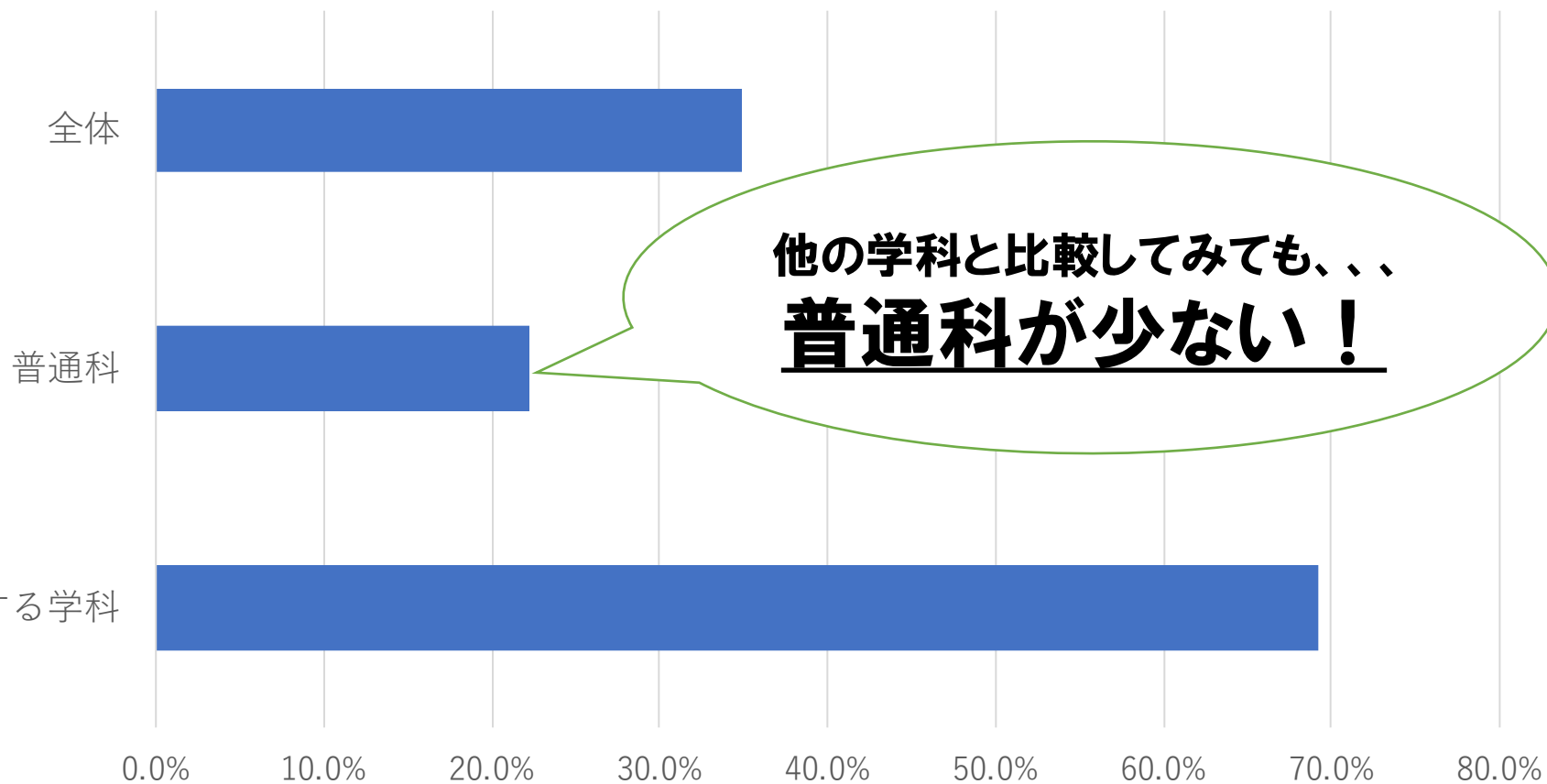
■ 高校生 ■ 中学校2年生 ■ 小学校5,6年生 ■ 大学生、社会人 ■ 中学校1年生 ■ 中学校3年生 ■ 小学校3,4年生

しかし、実際の実施状況は普通科で22.3パーセント！！（平成29年度）
（参考文献＊1）

＝高校生が職業体験をするニーズがある

全国の公立高校のインターンシップ実施状況(参考文献*1)

(在学中に1回でも体験した生徒の割合)

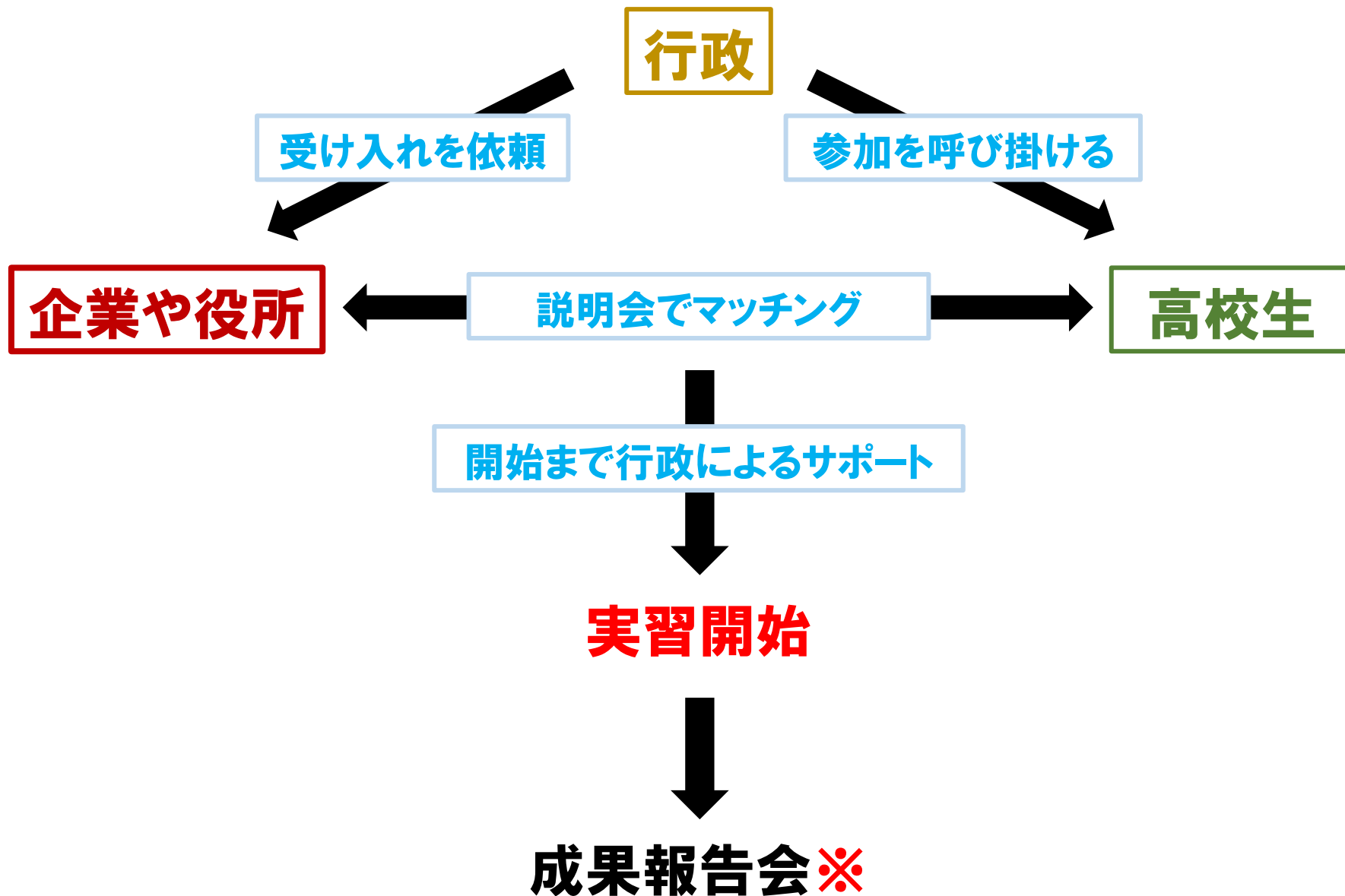


政策提言② ミッション達成型インターンシップ

<具体的な流れ>

- ①行政主体で市内の企業や役所、個人事業主、
経営者、農家に高校生の受け入れを依頼
→並行して解決したい課題とインターン中に達成したい目標等も決定する。
- ②市内の高校生に向けてアナウンスを開始
- ③高校生に向けた説明会を実施、企業とのマッチングを行う
- ④インターン開始までのサポートを教育委員会が行う
- ⑤実習開始、期間中は日誌等で日々の記録をする
- ⑥成果報告会を実施

政策提言② ミッション達成型インターンシップ



成果報告会

時期

インターン終了後の長期休業期間中

場所

公民館などの公共施設

参加者

インターンシップ参加者、受け入れ先の企業
興味のある高校生、地域の人々、参加者の家族
自治体の人々 など

成果報告会

目的

- ① 成果報告会を1つのゴールとして、参加者が学んだことを伝える機会を設けるため
- ② 来年度の参加者への参考
- ③ 市外へのアピール

発表内容

- ① 実際に経験したこと
- ② 職場で学んだこと
- ③ 自分の中で変わった仕事や志に対する「考え方」の変化

既存のインターンシップとの違い

	既存の高校生向け 職業体験	私たちが提案する インターンシップ
参加資格のある高校生	インターンシップをする 高校に在学している高校生	京田辺市内在住 もしくは 京田辺市内の高校 に在学する高校生
参加してほしい学生 像	その職業に体験意欲 のある学生	地域または地域にある課題 に一定の関心を持っている 学生
実施する期間	1日31.0% 2~3日50.7% 4 ~5日12.8% 6~10日2.4% 11~29日2.5% 30日以上 0.5% (全国の公立高校H29年度) (参考文献*2)	長期休暇中の 1週間ほど
インターンシップ のゴール	就業体験活動などの勤労観・ 職業観の形成 (参考文献*3)	受入先の課題解決と 目標達成 勤労感・職業観の形成 地域との関係性作り

『知る』・『やる』・『考える』が養われる！！

知る

おしごと体験会

やる

おしごと体験会

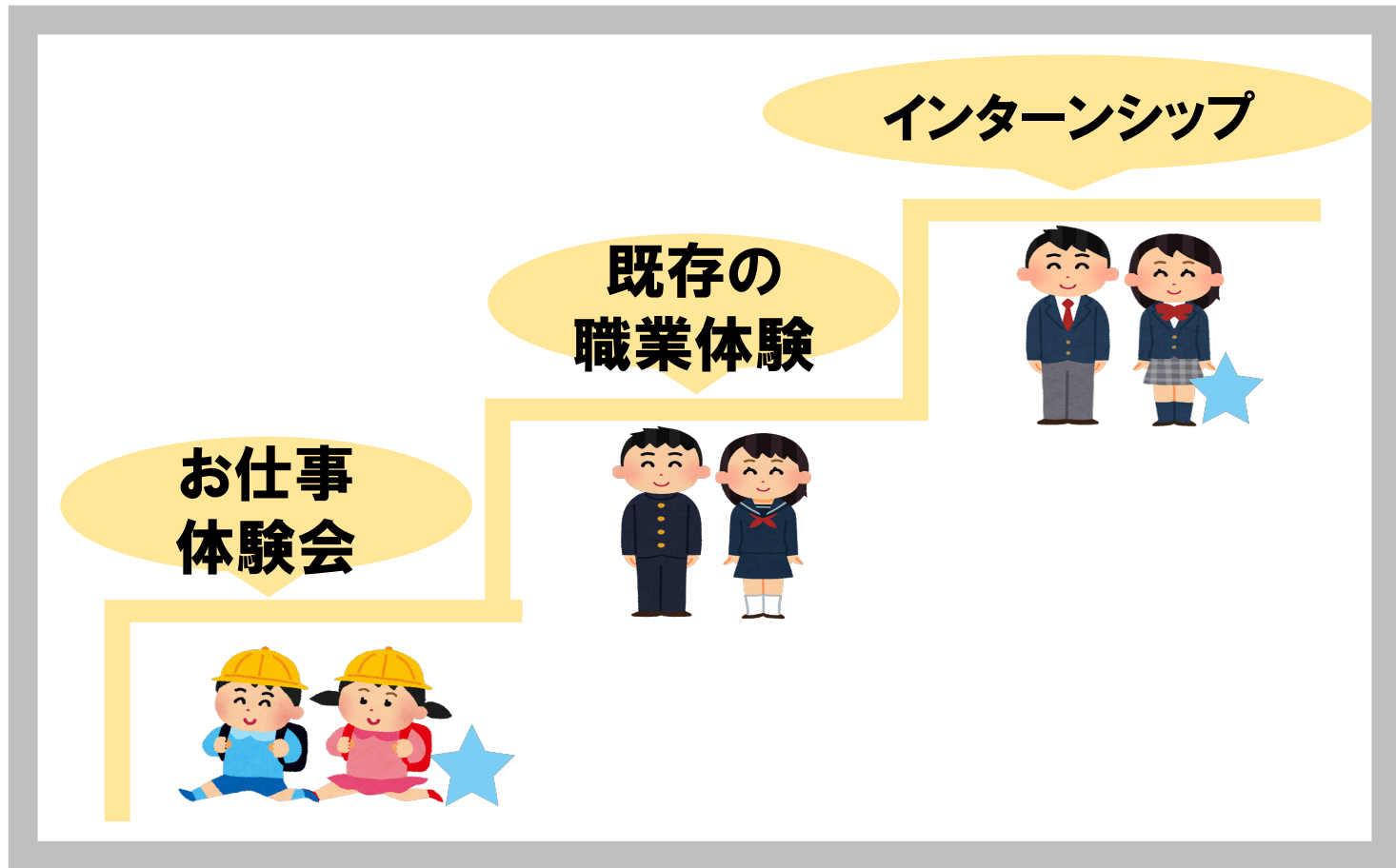
ミッション達成型インターンシップ

考える

ミッション達成型インターンシップ

成果報告会

小中高で「働く」という考え方を育てる



京田辺という地域での人材育成に！

メリット

自治体

- ・地元での職業選択肢の拡大による生産年齢人口の増加
- ・京田辺市自体への理解促進
- ・市内・市外へのPRにつながる

参加者側

- ・就労間・勤労観が養われる
- ・新たなコミュニティができる
- ・将来について「考える」きっかけになる

企業側

- ・高校生の視点が入ることで、企業内で新たな気づきが生まれる
- ・地域の人材育成による地域貢献につながる

→3方向へのメリットが生まれる

このまちが実現すると・・・

☆ **経験、体験したことによって
人生の視野や選択肢が広がる**

☆ **充実した教育制度の京田辺市にとって
新たな視点の政策である**

☆ **京田辺市ではこんなことができるのかと
市外から注目が高まる**



参考文献

表紙ゼミ旗画像引用元

日本大学法学部福島ゼミナールHP (旧HP)

<http://fukushimazemi.web.fc2.com/>

***1・2 文部科学省ホームページ 職場体験・インターンシップ実施状況等
調査結果**

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1340402.htm

<https://www.nier.go.jp/shido/centerhp/i-ship/h29i-ship.pdf>

***1…2ページ(5) *2…9ページ(4)**

***3 高等学校学習指導要領 (平成30年度告示)解説 特別活動編
94ページ(5) 学習指導要領第5章第2より**

https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf

- 大住中学校 日誌 2年生《18》 職場体験

http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/oosumi-jh/htdocs/?active_action=journal_view_main_detail&block_id=555&post_id=1486&comment_flag=1

- 産経ニュース 働くことの意義学ぶ 京田辺の中学生が職場体験

<https://www.sankei.com/region/news/171110/rgn1711100011-n1.html>

- 培良中学校 培良日記 3年進路体験学習と2年職場体験学習

<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyo-jh/htdocs/jogqrz5cn-21/>